

社会資本総合整備計画（水の安全・安心基盤整備）

平成29年12月8日

計画の名称										たつの市下水道整備事業(2) (第3回変更)					重点配分対象の該当										
計画の期間										平成27年度～平成31年度(5年間)					交付対象			たつの市							
計画の目標										社会経済情勢に応じた効率的な下水道事業を実施し、安全・安心・快適な暮らしを実現すると共に良好な都市環境を整備する。															
計画の成果目標（定量的指標）										<ul style="list-style-type: none"> <li>・効率的な下水道整備計画策定率を、0%（H27）から100%（H31）に増加させる。</li> <li>・前処理場施設の場内整備工事（新設）をH31年度までに完成（100%）させる</li> <li>・菅田前処理場内で処理すべき脱臭風量を0%から20%に増加させる。</li> <li>・竜野駅周辺整備区域内の污水管渠整備率を11%から30%に増加させる。</li> </ul>															
定量的指標の定義及び算定式										定量的指標の現況値及び目標値					備考										
										当初現況値 (H27当初)		中間目標値 (H29末)		最終目標値 (H31末)											
下水道事業計画区域内において、道路整備や開発行為等に伴う社会経済情勢の変化や人口推移等を考慮した効率的な下水道整備計画を策定した面積の割合。 効率的な下水道整備計画策定実施率(%) = 効率的な計画の見直しを行った下水道整備計画の面積(ha) / 計画の見直しが必要な下水道整備計画の面積(ha)(3,543.6ha)										0%		100%		100%											
前処理場施設場内整備工事達成率 = 整備済み箇所数(箇所) / 整備予定箇所数(箇所) (2箇所)										0%		33%		100%											
菅田前処理場内の脱臭設備整備率 = 工事完了済みの脱臭風量 (m <sup>3</sup> /分) / 処理すべき全体の脱臭風量 (m <sup>3</sup> /分)										0%		0%		20%											
竜野駅周辺整備区域内污水管渠整備率(%) = 整備済延長(m) / 整備予定延長(m)(1,696m)										11%		11%		30%											
全体事業費		合計 (A+B+C+D)		500		A		500		B		0		C		0		D		0		効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)		0%	
交付対象事業																									
A1 下水道事業																									
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	費用便益比	個別施設計画策定状況	備考						
											H27	H28	H29	H30	H31										
1-A1-1	下水道	一般	たつの市	直接	-	汚水	全種	効率的な事業実施のための施設計画の策定	効率的な下水道整備計画の見直し	たつの市						30		—							
1-A1-2	下水道	一般	たつの市	直接	-	汚水	新設	効率的な汚水処理施設の検討	沢田前処理場	たつの市						14		—							
1-A1-3	下水道	一般	たつの市	直接		汚水	新設	前処理場施設整備事業	場内整備	たつの市						66		—							
1-A1-4	下水道	一般	たつの市	直接		汚水	新設	菅田前処理場脱臭設備整備	脱臭設備	たつの市						370		—							
1-A1-5	下水道	一般	たつの市	直接		汚水	新設	竜野駅周辺公共下水道整備	污水管渠整備	たつの市						20		—							
												小計(下水道事業)			500										
												合計			500										
B 関連社会資本整備事業																									
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考								
											H27	H28	H29	H30	H31										
												合計			0										
番号	一体的に実施することにより期待される効果																	備考							
C 効果促進事業																									
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考									
										H27	H28	H29	H30	H31											
												合計			0										
番号	一体的に実施することにより期待される効果																	備考							
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業																									
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考										
									H27	H28	H29	H30	H31												
												合計			0										
番号	一体的に実施することにより期待される効果																	備考							

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H27	H28	H29	H30	H31
配分額 (a)	19	23	100		
計画別流用 増△減額 (b)	△ 7.2	0	0		
交付額 (c=a+b)	11.8	23	100		
前年度からの繰越額 (d)	0	0	23		
支払済額 (e)	11.8	0	70.5		
翌年度繰越額 (f)	0	23	64.7		
うち未契約繰越額 (g)	0	12.8	44		
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0		
未契約繰越＋不用率 (h = (g+h)/(c+d))	0.0%	55.6%	36.0%		
未契約繰越＋不用率が10%を超えている場合その理由		JR協議に時間を要した為	地元協議に不測の日数を要したため		

※ 平成27年度以降の各年度の決算額を記載。

# 水の安全・安心基盤整備

